



①



⑤



②



③



④

①②約30人の地域住民が消防訓練に参加。掛け声を掛けながら、テンポの良いバケツリレーで初期消火を行った

③建物内から逃げ遅れた要救助者を救出

④消火のため、消防署員と消防団員による一斉放水を行った

⑤市内の文化財建造物は26件。今回消火訓練を行った香川家長屋門は、江戸時代中期に、錦帯橋架け替えを手掛けた名匠大屋嘉左衛門が一代の丹精をこめて建造したものといわれている

地域で力合わせ

火災に備える

市政 PICK-UP

1月26日の文化財防火デーの前に、1月22日、横山の香川家長屋門で消防訓練が行われ、岩国地区消防組合や地元消防団、地元住民などが参加しました。訓練は建物の内部から出火し、負傷者が出たという想定で行われ、参加者は素早いバケツリレーで初期消火を行いました。逃げ遅れた負傷者を消防署員が救出、応急処置を行い、最後に消防署員と消防団員による一斉放水で訓練が締めくくられました。文化財防火デーは、昭和24年

文化財防火デーに伴う消防訓練

1月26日に、現存する世界最古の木造建築である法隆寺（奈良県）の金堂が火事で炎上して壁画が焼損したことを契機に、昭和30年に制定されました。毎年、一年で最も火事が多い1月〜2月に、市と消防が消防予防査察や消防訓練などを行っています。香川家長屋門は、江戸時代中期に建造された武家造りの門で、県の有形文化財に指定されています。

文化財保護課 ☎ 04452

政治とは人を思いやる心

1月30日、読売新聞特別編集委員を務める橋本五郎氏を講師に招き、地域文化講演会が玖珂こどもの館で行われました。

橋本氏は記者として長年政治を見つめてきた経験を踏まえ、現在の政治問題や、歴代の首相が行った政治の背景などを解説し「国民の支持するリーダーは自分の信じた政治を責任を持って断固として行い、その審判を国民に任せる姿勢が大事」と話しました。



▲政治問題についての解説のほか、地方の問題は地元の人とその気になって取り組むべきと話した橋本氏

地域文化講演会 in くが

また自らの生き方の指針となった、地方に住む母親の常に他人を想う姿勢とそのエピソードに触れ「子供の幸せを願って孤独の痛みに耐える、多くの地方の高齢者でこの国は成り立っている。政治家は自分の思う政治をやりぬきながらも、地方や都心、それぞれの立場の人に思いやりの心を向けることが大切」と話しました。

岡生涯学習課 ☎ 5210



▲多くの参加者が熱心に講演に聞き入った



▲出発式で、羽田便の増便、沖縄便の新規就航を観光振興に結び付けたいと話す福田市長

首都圏へ

首都圏からの観光誘客を目的に、2月3日、岩国錦帯橋空港から岩国市観光宣伝隊26人が東京へ向けて出発しました。

空港ロビーで開催された出発式では、観光宣伝隊の顧問を務める福田良彦市長が「空港は開港4年目に入り、搭乗率も堅調に推移している。今回の宣伝隊を通じて、さらに岩国の観光をPRし、空港のさらなる活用と市全体への経済波及効果を目指していきたい」と述べました。

観光宣伝隊の派遣は1979

岩国市観光宣伝隊出発式

観光PR

年から毎年行われており、首都圏への派遣は3回目になります。3日間の日程で、観光誘客や企業訪問、マスコミ訪問などの観光PRを行いました。

4日～5日には羽田空港のターミナルで観光展を行い、シロヘビの展示や岩国寿司の模型の設置、観光パンフレットやノベルティの配布のほか、岩国の特産品が当たる抽選会を行うなど、多くの来場者に岩国への訪問を呼び掛けました。

岡観光振興課 ☎ 5116



▲空港を訪れた人へ岩国をPR